

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年10月4日(2018.10.4)

【公開番号】特開2018-57894(P2018-57894A)

【公開日】平成30年4月12日(2018.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2018-014

【出願番号】特願2017-228587(P2017-228587)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月21日(2018.8.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

メイン制御手段により制御される表示手段と、  
情報を記憶可能な記憶手段と、  
割込み処理によって更新可能なカウンタと、  
セグメントテーブルと、  
所定の出力ポートと  
を備え、  
前記表示手段として、第 1 表示部と第 2 表示部とを有し、  
前記記憶手段に記憶されている情報から取得した第 1 の情報と前記セグメントテーブル  
とに基づいて、所定のセグメントデータを出力するための情報を生成可能とし、  
前記記憶手段に記憶されている情報から取得した第 2 の情報と前記セグメントテーブル  
とに基づいて、特定のセグメントデータを出力するための情報を生成可能とし、  
所定のエラー状態であっても、前記割込み処理が実行可能であり、  
前記所定のエラー状態において、  
前記カウンタが第 1 表示部を点灯させる値となった場合には、前記所定の出力ポートに  
クリアデータを出力した後に、前記所定の出力ポートに前記所定のセグメントデータを出力  
可能とし、  
前記カウンタが第 2 表示部を点灯させる値となった場合には、前記所定の出力ポートに  
クリアデータを出力した後に、前記所定の出力ポートに前記特定のセグメントデータを出力  
可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

特許文献 1 の技術では、切替えスイッチ 1 0 0 (設定キースイッチ) のオン / オフにより点灯させる表示器を切り替えることができるが、手動によるものであるので、自動制御による複数個の 7 セグのダイナミック点灯制御ではない。また、払出し枚数表示器 5 0 の

うち、十位表示器 5 1 は常時点灯状態にあるため、一位表示器 5 2 と設定値表示器 6 0 との点灯を切替えスイッチ 1 0 0 により切り替えても、表示器全体をダイナミック点灯させることにはならない。

本発明が解決しようとする課題は、スロットマシン等の遊技機において、所定のエラー状態においてダイナミック点灯することである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する。なお、カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。

本発明は、

メイン制御手段（メイン制御基板 6 0）により制御される表示手段（獲得数（又はエラー）表示 L E D 7 2）と、

情報を記憶可能な記憶手段（R W M 6 1 の獲得枚数表示データ）と、

割込み処理によって更新可能なカウンタ（L E D 表示要求カウンタ）と、

セグメントテーブル（L E D セグメントテーブル）と、

所定の出力ポート（出力ポート 1）と

を備え、

前記表示手段として、第 1 表示部（デジット 3（上位桁））と第 2 表示部（デジット 4（下位桁））とを有し、

前記記憶手段に記憶されている情報から取得した第 1 の情報と前記セグメントテーブルとに基づいて、所定のセグメントデータを出力するための情報（オフセット値）を生成可能とし（図 4 9 のステップ S 6 3 5）、

前記記憶手段に記憶されている情報から取得した第 2 の情報と前記セグメントテーブルとに基づいて、特定のセグメントデータを出力するための情報（オフセット値）を生成可能とし（図 4 9 のステップ S 6 3 5）、

所定のエラー（復帰可能エラー）状態であっても、前記割込み処理が実行可能であり、

前記所定のエラー状態において、

前記カウンタが第 1 表示部を点灯させる値となった場合には、前記所定の出力ポートにクリアデータ（「0 0 0 0 0 0 0 0」）を出力した（図 4 9 のステップ S 6 2 1）後に、前記所定の出力ポートに前記所定のセグメントデータを出力可能とし（図 4 9 のステップ S 6 4 0）、

前記カウンタが第 2 表示部を点灯させる値となった場合には、前記所定の出力ポートにクリアデータ（「0 0 0 0 0 0 0 0」）を出力した（図 4 9 のステップ S 6 2 1）後に、前記所定の出力ポートに前記特定のセグメントデータを出力可能とする（図 4 9 のステップ S 6 4 0）

ことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明によれば、所定のエラー状態において、ダイナミック点灯することができる。

また、クリアデータを出力した後にセグメントデータを出力するので、異なる L E D が同時に点灯して見えてしまうこと（被って表示されてしまうこと）を防止する（残像を防止する）ことができる。